

グリーンピースのFCPレビュー報告書に対するAPPの回答書

2013年10月 29日、ジャカルタ

概要

アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）は、本日発表されたグリーンピースの『APPの森林保護方針：進捗レビュー』の刊行を歓迎します。グリーンピースや他の多くのNGOによる精査は、当社が森林破壊ゼロとより高い透明性に向かって進んでいく重要な原動力となってきました。

当社の活動に関するグリーンピース独自のアセスメントを総括しましたが、かつては辛辣に批判されていた分野での当社の取り組みについて好評価をいただいていることに感謝しております。我々は、この報告書で提起された事項に対処しつつ、持続可能性パフォーマンスをさらに向上させ、森林保護方針（FCP）を実施していくことを誓約します。

当社は自ら設定した意欲的な職務を全うすることをこれまで以上に固く誓うと共に、今後数ヶ月、また数年にわたり、グリーンピースや多くのステークホルダーの皆様と引き続き協力していただけることを期待しています。

進捗の評価

2013年2月のFCP発表以降、グリーンピースが下記のような肯定的な要素を取り上げてくれたことを我々は嬉しく思っています：

1. 自然林および未開発泥炭地の全面的伐採禁止
2. FCP 違反事例 2 件に関する自発的開示
3. 初期の教訓と違反に基づいた、FCP の管理および実施面での改善措置
4. HCV 評価報告書案について、ステークホルダーの意見を求めると誓約したこと
5. 社会紛争に関する優先地域における進展（スマトラ島ジャンビ州セニェラン村）
6. 新規パルプ材供給会社に FCP を適用するための提携手順の実施計画
7. 多くの NGO が参加する作業部会との協議を通じ、高炭素貯蔵(HCS)地域と保護価値の高い(HCV)地域以外で伐採された混交熱帯広葉樹材 (MTH) の代替用途を模索すると決定したこと
8. FCP の実施について第三者監査を導入すると決定したこと
9. 特にオンライン監視ダッシュボードについての、さらなる透明性対策

また我々は、当社とのお取引を希望するお客様にグリーンピースが提供している明確な助言も歓迎しています。

APPがFCPを引き続き実施していく上で、購買企業によるさらなる精査はAPPの原動力になると当社は考えています。また、こうしたレベルでのお客様との協働により、APPの取り組みは純粋なものであり、評価されるべきであるという明確なメッセージを市場に対して送ることができると確信しています。

グリーンピースの課題への対処

APPは、森林保護方針の短期的/長期的な成功を判断するためにグリーンピースが設定した下記基準に全面的に賛成しています：

1. 2013年2月に発表された伐採中止の継続的实施
2. 高炭素貯蔵（HCS）、高保護価値（HCV）、泥炭地、社会的アセスメント、およびFCPIに伴って提起された勧告と管理計画の質
3. 優先順位に応じた社会的紛争案件の解決
4. インドネシアで事業を展開している当社の原料供給会社の森林および泥炭地の景観の保護および再生における、長期的で総合的な貢献

当社は、優先事項として進めていくべき残された分野について、グリーンピースが建設的な批評と助言を寄せてくださったことに感謝します。以下の要約は、グリーンピースの報告書で提起された各追加項目について、当社が提案する方策を示しています。

グリーンピースの報告書で提起された項目	APP が提案する方策
<p>サプライチェーンでの重複する土地ライセンスの問題について、APP はさらなる詳細を公表し、これをダッシュボードに掲載すること。</p>	<p>コンセッション・ライセンスの重複は、インドネシアでは共通の課題です。その原因は土地利用割り当てとライセンス発行プロセスの複雑さにあります。こうした問題の解決は、インドネシアの森林および泥炭地の景観の持続可能な管理における主要事項です。</p> <p>APP はパルプ材供給会社と The Forest Trust (TFT) と共に、最近、下記の対策を行ってきました：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライセンスの潜在的な重複をマッピングする活動を開始しています。その要約は 2013 年 10 月 31 日にフォーカス・グループ・ディスカッションでインドネシアの市民団体と共有されると共に、ステークホルダーとの協議を経て、FCP 監視ダッシュボードでも見られるようになります。 2. APP はこれまで、関連する政府、業界、市民団体のステークホルダーと協力してきており、現在、そうした方々の見解を精査しています。また、こうした困難な課題の解決にどのようなプラットフォームが最も適しているかについての評価も実施しています。
<p>APP のダッシュボードウェブサイト上で、管理計画の作成スケジュールを公開すること。</p>	<p>管理計画の作成スケジュールは APP のダッシュボードで公開されません。</p> <p>管理計画の進行は、APP のコンセッション地域全体で現在も実施されているさまざまなアセスメントの進捗状況にかかっています。</p>

<p>今後半年間で、泥炭地についての進捗を加速しなければならぬ。</p>	<p>現在、泥炭地の専門家チームを招集しているところであり、これについてはまもなく発表されます。これは、さまざまなステークホルダーからの情報提供や勧告に従って実施されるものです。</p> <p>この専門家チームは当社の持続可能な総合森林管理計画に不可欠な要素となります。このチームは泥炭地の景観内で温室効果ガス（GHG）排出を削減・阻止することを目指しており、ここから始める HCV/HCS および泥炭地アセスメントの結果に基づいて、APP が最善の慣行管理を採用できるようにサポートするという任務を担っています。</p> <p>詳細については、FCP 監視ダッシュボードで入手することができます。</p>
<p>APP は紛争マッピング作業の結果を関連するステークホルダーと共有し、次の優先地域を特定すべきである。</p>	<p>APP はこの作業結果を関連するステークホルダーと共有します。</p> <p>APP は原料供給会社 38 社すべての紛争マッピングを終えました。紛争マッピングを実施する主な目的は、社会的紛争の体系的な処理を保証することです。このマッピングの結果、紛争は優先度ごとに低・中・高に区分されました。これにより、APP は行動計画を作成し、こうした紛争への対処に資源を割り当てることができるようになります。APP は優先地域における行動計画を 2013 年末までに作成することを目指しています。</p>
<p>信頼できる環境保全取り組みを保証するため、管理計画の作成に信頼できる環境保護専門家を参加させること。</p>	<p>環境保全取り組みの策定と実施に、信頼できる環境保護専門家が参加すべきであるということに APP は同意します。</p> <p>持続可能な総合森林管理計画（ISFMP）の一環として、APP は、景観レベルの環境保護プログラムの考案、策定、実施を支援する、さまざまな地元および国際的な環境保護専門家や環境保護団体と討議を行っているところです。</p>
<p>今後半年間、APP は、中国での取り組みの透明性を向上させ、サプライチェーンのリスクを特定する方法について、より明確に示さなくてはならない。</p>	<p>森林破壊の中止に対する誓約により、当社はこれまでインドネシアを優先してきました。しかし、2 月の FCP 開始を受け、中国でも取り組みが始まっています。たとえば、ステークホルダーと協議し、APP 中国の原料供給会社のコンプライアンスの見直し、原材料のトレーサビリティ、社会的アセスメント、海南省における環境保護プログラムの開発などです。また、中国にある当社のパルプ工場に関する FCP 実施を進めていくための FCP 監視ダッシュボードに関する特別な部門も設置されました。</p> <p>進捗状況の明確性を保証するため、当社はこの部門を引き続き改善および向上させて参ります。また APP は、中国で実施される取り組みに関する定期的な公式報告を行うことも約束いたします。</p>

<p>APP は、すべての新規パルプ工場の生産能力に必要となる需要を、FCP を順守している供給会社の植林木のみで満たすことを今後どのように保証する予定か公表しなければならない。</p>	<p>APP は、原料入手の透明性が重要な課題であることに同意します。当社独自の社内の原料予測システムとこれまでの複数の外部調査により、当社のパルプ工場の需要を満たす十分な原料があることが確認されています。また、こうした予測を改善する一環として、現場作業で収集した最近のデータを使い、より詳しい分析を実施しているところです。この結果について、第三者による監査と報告が行われることになっています。</p>
<p>APP は、APP のサプライチェーン全体における、最低でも過去 5 年間の伐採について、環境保護価値に見合う環境保護/再生原則を適用すべきである。</p>	<p>HCV/HCS/社会的アセスメントのデータが、管理計画の策定に利用されます。このデータには、持続可能な総合森林管理計画の一環としての環境保全および再生に関する勧告も含まれています。</p> <p>当社は現在、FSC による基準設定に関連して提案のあった 5 年という期間について精査しているところです。また、持続可能なパーム油に関する円卓会議 (RSPO) や消費財フォーラム (CGF)、PEFC に関するその他の取り上げ方についても検討しています。</p> <p>森林再生取り組みについては、多くの部門にわたる他の業界によっても実施される必要であると当社は考えています。</p>
<p>APP は管理計画に関する協議について明確なプログラムを作成すべきである。</p>	<p>強固な管理計画を策定するにあたって、ステークホルダーによる情報提供が不可欠であることに APP は同意します。当社は現在、この件についてステークホルダーと協議するためのメカニズムを開発しているところです。</p>

前進させること

FCP が開始されてから 9 ヶ月になりますが、「APP は FCP 計画を真剣に捉えており、中心となる上級スタッフはこの新たな誓約の実践に本気で取り組んでいる」というグリーンピースの認識を、APP は非常に嬉しく思います。これまで、APP とグリーンピースは長期にわたって相互間で不信の時期を過ごしてきましたが、今回の報告書は二つの組織の関係を前進させる重要な一歩となります。

APP はこの先の任務の規模と多くの課題が残されていることを十分に認識しています。多くのステークホルダーの皆様のご期待に沿い、でき得る限りご期待を超えられるよう、十分に当社の役割を果たしていく所存です。当社が事業を展開しているすべての地域で森林破壊を阻止するという共通の目標を達成するために、これからも、グリーンピースやその他のグループと緊密に連携して取り組んでいきたいと当社は願っております。

以上